

## S 総合コース（関東）

### 概要

このコース群は、各分野の専門家を講師として、知的財産管理、知的財産戦略、ライセンス戦略など、知的財産権をめぐる国内あるいは国際的な環境変化を的確に把握するために必要な重要事項と動向について、最新の情報、豊富な実例により講義します。

#### ご参考

好評臨時研修を新設コースとして定例コース化しました！

新設

S02 知財人材育成を通じた知財部門の活性化

新設

S03 企業担当者が理解すべき、企業（事業）経営と知財との関わり

## S01

知財活動における  
マネジメント講座初回開催日の  
2週間前まで申込可能です。  
お申込みはこちらから！

## 概要

このコースは、知財部門のマネージャまたはそれに準ずる方に求められる戦略思考、リスクマネジメント能力、グローバル対応力などを、各界で活躍されている講師が、経験談や豊富な実例を交えて講義します。

## ●対象者

知財部門のマネージャまたはそれに準ずる方で、具体的には以下に挙げる方

- マネージャ候補者
- マネージャになってまだ経験の浅い人。
- マネージャになって数年経過しているが、知識を補充したい人、意識改革をしたい人、視野を広げたい人。

## ●学びのポイント

経済のグローバル化が進む今日において、激化する競合他社との競争に勝つためには、強い知財の創造とその活用が不可欠となるなど、知財部門の果たすべき役割は一層大きくなっています。経営に資する知財部門として機能するかどうかはマネージャの意識に因るところが大きく、それにより組織の存在意義が大きく変わってきます。

知財部門に対する社内外からの期待に的確に応えるには、知財マネージャが高い意識と行動力を備え、チームメンバーをリードし、開発部門や事業部門、また経営層に対して積極的に働きかけることが重要となります。

こうした知財マネージャに求められる、戦略思考、権利活用力、リスクマネジメント能力、税務知識、グローバル対応力などを、講師の実体験や実例を交えた講義を通じて学んで頂きます。

開催日		講義科目	講師
10/5(水)	午後	1.知財戦略概論	(株)日立製作所 弁理士 水本 大介 氏
10/14(金)	午後	2.知財戦略の実践	(株)リコー 石島 尚 氏
10/27(木)	午後	3.グローバル知財活動における留意点	i.PARTNERS特許事務所 弁理士 井上 正則 氏
11/16(水)	午後	4.攻めと守りの知財活動	福田・近藤法律事務所 弁護士 近藤 恵嗣 氏
12/7(水)	午後	5.知財活動におけるリスクマネジメント	弁護士法人中央総合法律事務所 弁護士 中務 尚子氏
12/15(木)	午後	6.知財活動における税務	渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 弁護士 手塚 崇史 氏
1/25(水)	午後	7.ブランド戦略における知財の関わり	青和特許法律事務所 弁理士 外川 奈美 氏
1/31(火)	午後	8.知財マネージャに期待すること	パナソニック(株) 足立 和泰 氏

申込みコード：S01-P1

## 1. 知財戦略概論

IoT、AI時代を迎え、企業の知財を取り巻く環境は激変してきています。競争戦略、イノベーションと知財との関係など、基本的な企業戦略のフレームワークを解説しつつ、グローバル企業の知財戦略を紹介し、特許にとどまらない、広義の知財の戦略について概説します。

## 2. 知財戦略の実践

本講座では、事例を参考にしながら、実際に知財戦略を遂行していく上での課題を知り、これら課題についてどのように取り組むべきかを理解することにより、自社における知財戦略の遂行イメージを持って頂きます。

## 3. グローバル知財活動における留意点

この講義では、日、米、欧、中、韓、インドの知財動向やTPP等国際協定/条約を紹介すると共に、これらの動きに対して日本企業はどのような準備、対応をすべきかを解説します。そして、日本企業がグローバルに事業活動を展開するに際しての、知財戦略上の留意点を説明します。

## 4. 攻めと守りの知財活動

知財マネージャとしての仕事において、自社の知財の活用と他社からの権利行使に対する防御は車の両輪と言えます。この講義では、特許紛争を前提として、攻防における主な争点の考え方を習得していただき、他社に警告する前にすべきこと、警告を受けた場合のリスクマネジメントの重要性を理解して頂きます。

## 5. 知財活動におけるリスクマネジメント

企業活動において他社との連携が定期的に行われるようになり、情報管理が重要となっています。そして情報を含む知財リスクマネジメントは無体であるがゆえの困難を伴います。この講義は、営業秘密を中心に著作権法、独占禁止法の視点も加え、最新状況を理解し事例に基づいた対応を考えます。

## 6. 知財活動における税務

税務というと経理部門の話と思われるかもしれませんが、知財部門で働く方にとって一定の税務の知識があった方が日々の業務において、様々な判断をする際に有効であることは疑いようがありません。そこで、知的財産権に関する税務について最近のトピックも交えながら説明します。

## 7. ブランド戦略における知財の関わり

本講義では、ブランド戦略に関する基礎知識から、コーポレートブランドやプロダクトブランドなどの種類、さらには商標法、不競法との関係、そしてブランド戦略立案と実践に至るまでを講義することにより、知財マネージャとしてブランド戦略に対して如何に関わるかを学んで頂きます。

## 8. 知財マネージャに期待すること

産業競争の現場で知財が最大の効果を発揮できるかどうかは、知財マネージャの力量にかかっています。経営者への知財戦略提案と知財部門で実行するための組織構成と運用について理解して頂きます。

PCライブ研修			募集定員:200名
<b>S02</b>	<b>知財人材育成を通じた 知財部門の活性化</b>	<b>新設</b>	初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから！

## 概要

コロナ禍で在宅勤務が増えるなか、人材育成のために何をすべきか、十分な手当ができていないようです。一方で、個人の時間が増えているため、“日常”の過ごし方次第で、個人毎に大きな違いが生じてきます。

知財新人（知財未経験者、新入社員のみならず、知的財産部門へ異動になった社員を含む）は虎の子であり、知財新人の人材育成は部門成長のためにも極めて重要な組織の課題ですが、多くの場合、どのように知財新人を育成するかは教育担当者（知財新人を教える側）に任せられ、現場は手探り状態になっています。

本研修では、教育手法の原則を押さえた上で、知財の考え方を体系的に会得し、実践できるようになることを目的とします。特に知財に関する価値感とマインド醸成に係る事例や考え方を紹介します。

OJT と Off-JT を組み合わせながら、好適なコミュニケーション手法のもと、モチベーションの維持（知財への興味・短期・中長期の目標達成）について紹介します。続いて、マインド醸成のため、表現・用語を大切に、原点回帰と論理的思考をくり返すことにより、知財新人のスキルアップのみならず、知財部門全体の活性化が達成できることをご説明します。ここで、尖った人材についても触れる予定です。

本研修は、知財新人に知財教育を担当する方のみならず、知財部員が“日常”を見直すためにも有益な研修となっていますので、是非ご参加くださいますよう此処にご案内いたします。

また、本内容を知財新人を対象に講義するB11「知財新人向け知財マインド修得法」もあります。これから知財を学ぶ知財新人に好適な研修ですので、知財新人の受講をお薦めします。

開催日		講義科目	講師
9/30(金)	午後	1.知財人材育成を通じた知財部門の活性化 ～知財新人教育手法・原点回帰と マインド醸成術～	持田製薬(株) 弁理士 石川 浩 氏

申込みコード : S02-P1

## 1. 知財人材育成を通じた知財部門の活性化

1. コロナ禍での人材育成（コミュニケーション法）
- 2.モチベーションの維持（知財に興味を持つ）
3. 個性の重視と目標設定、目指すべき人物像
4. OJT と Off-JT
5. 専門用語（術語）と論理的思考
6. 考え方と原点回帰（知財マインドの醸成）

PCライブ研修	募集定員:200名	
<b>S03</b>	<b>企業担当者が理解すべき、 企業（事業）経営と知財 との関わり</b>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px; color: white; font-weight: bold;">新設</div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; font-size: 0.8em; color: white;">           初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから！         </div> </div>

## 概要

従来から、企業経営に必要な「企業（事業）戦略」「研究開発戦略」「知的財産戦略」を、三位一体の活動として取り組むことが提唱されています。これは、企業経営や企業（事業）戦略の理解に必要な基礎知識を持った人材が、企業経営や企業（事業）戦略と知的財産との関係を理解し、活動することが重要である、との認識に立った提唱だと言えます。にもかかわらず、知財部門や技術部門で知財業務に従事する者にとって、特に「企業（事業）戦略」を理解するための基礎知識を習得する機会が少ないのが現状です。

本研修は、企業の知財部門の中堅～マネージャークラス、及び技術部門で知財業務に携わる管理職～マネージャークラスの方が、企業経営に必要な「企業（事業）戦略」を理解するための基本知識、ならびに、ある企業の知財戦略事例を学ぶことにより、自ら企業経営に資する知財活動を行うことができるようになることを目的としています。

開催日		講義科目	講師
11/17(木)	9:30 ～ 14:15	1.企業（事業）戦略理解の為の基礎知識 (1) 会計分析の基礎（BS、PLの説明、 経営分析手法、等） (2) マーケティング論の概要 (3) 組織論の概要 (4) 戦略論の概要 (5) 事業ポートフォリオ	小樽商科大学大学院 教授 旗本 智之 氏
	14:30 ～ 16:30	2.知財と経営の関わり (1) 企業経営と知的財産 (2) 知的財産部門と知的財産 マネジメント (3) ダイキン工業の知財戦略	ダイキン工業(株) 松本 宗久 氏

申込みコード：S03-P1

## 1. 企業（事業）戦略理解の為の基礎知識

企業経営において重要な「会計」「マーケティング」「組織」「戦略」「事業ポートフォリオ」に関し、基礎的な知識をわかりやすく説明いたします。

## 2. 知財と経営の関わり

企業経営における知的財産の位置づけと知的財産マネジメントに関し説明いたします。また、ダイキン工業における知財戦略事例も紹介いたします。